

総合情報 センターだより

アニュアル・レポート2003年度版 特別号

CONTENTS

表紙 巻頭言

1 情報システム部門

- 2 ・2003年度情報環境
私立大学で全国1位
・プラズマディスプレイの活用
- 3 ・自習環境の活用
・無線LANの活用
・コースツールの活用
- 4 ・ITによる学生サービスの充実
・コンテンツ作成・活用の支援
- 5 ・VPNサービス
・セキュリティ対策が強化されました

6・7 ・学生スタッフ活躍中!

2 学術情報部門

- 8 ・図書館ガイダンス、講習会の実施
- 9・10 ・データベース提供状況、利用状況
・学内利用状況
- 11 ・本学学術情報施設の客観的状況
- 12 **INFORMATION**
・RUNNERSが新しくなりました
・新たな貸出規則を制定しました

アニュアル・レポート特別号の発行にあたって

総合情報センターでは、毎年アニュアル・レポートを発行し、1年間の業務内容と各種設備の利用状況ならびにその統計結果について、他大学との比較を含めてまとめ、より客観的な状況の把握に努めています。このアニュアル・レポート特別号は、その要点を分かりやすくまとめています。

2003年度は、「学生の『学びと成長』を支援するための創造的業務の構築」を業務方針に掲げ、学生の「学び」を促進するための取り組みを強化してきました。

情報システム部門

- ・2005年9月の稼働を目指してRISING企(事務情報システム)の開発を開始。
- ・全学園のIT化推進組織として「立命館情報化推進機構」を設置。

学術情報部門

- ・2004年3月にRUNNERS協(学術情報システム)が稼働。
- ・衣笠図書館のカーペットと椅子の更新、トイレの全面改修。
- ・BKCメディアセンターに自動書庫(収容冊数約35万冊)を設置。
- ・全学部の情報リテラシー教育として「学術情報 収集・利用法」の授業を実施。

このアニュアル・レポート特別号を、学生の学びの到達点の目安として活用されることを願っております。

立命館情報化推進機構長
立命館大学総合情報センター長 谷口 吉弘



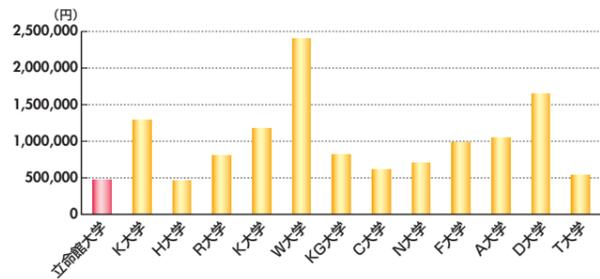
2003年度情報環境 私立大学で全国1位を獲得

大学名	総合順位 ()内獲得ポイント/20点満点	順位 ()内獲得ポイント/7点満点	I.情報機器・施設の整備			II.教育へのIT活用		III.情報化投資額
			学生数 (人)	パソコン 数(台)	1台あたりの 学生数 (人/台)	順位 ()内獲得 ポイント/ 10点満点	順位 ()内獲得 ポイント/ 3点満点	学生1人 あたりの 投資金額 (万円)
立命館大学	1 (15p)	1 (6p)	31,448	4,038	7.8	1 (8p)	14 (1p)	6.0
K大学	2 (14p)	1 (6p)	31,235	3,311	9.4	7 (5p)	1 (3p)	13.9
H大学	2 (14p)	1 (6p)	26,992	3,531	7.7	3 (7p)	15 (1p)	5.8
R大学	2 (14p)	11 (4p)	17,245	2,027	8.5	1 (8p)	6 (2p)	9.3
K大学	5 (13p)	11 (4p)	27,855	2,098	13.3	3 (7p)	9 (2p)	8.7
W大学	5 (13p)	11 (4p)	47,847	2,198	21.8	3 (7p)	3 (2p)	11.0
KG大学	7 (12p)	1 (6p)	18,071	1,822	10.0	11 (4p)	7 (2p)	9.0
C大学	8 (11p)	1 (6p)	28,457	2,388	12.0	7 (5p)	19 (0p)	5.0
N大学	8 (11p)	6 (5p)	69,448	6,475	10.9	7 (5p)	12 (1p)	6.3
F大学	10 (10p)	6 (5p)	21,226	812	26.1	7 (5p)	21 (0p)	3.9
A大学	10 (10p)	6 (5p)	17,013	2,118	8.0	19 (2p)	2 (3p)	13.1
D大学	10 (10p)	11 (4p)	23,319	1,350	17.3	11 (4p)	5 (2p)	9.7
T大学	10 (10p)	11 (4p)	30,740	2,681	11.5	6 (6p)	20 (0p)	4.6

*上記表の()内は獲得ポイントをPで表示している。

*この表は、「平成14年度私立大学情報環境白書」私立大学情報教育協会の調査報告を基に立命館大学 総合情報センターで作成した。なお、ランキングは1~10位まで抜粋している。

■パソコン1台あたり換算の投資額



社団法人私立大学情報教育協会にて協会加盟大学の情報環境調査「平成14年度教育の情報環境ランキング」が行われ、立命館大学が総合順位1位を獲得しました。学生一人あたりの投資金額の多い順から22大学中14位にもかかわらず、ネットワーク環境や一般教室のマルチメディア機能(授業風景を録画できる教室がある、プラズマディスプレイ等の表示装置がある)について評価され、本学では低コストで充実した情報環境を提供しているといえます。

プラズマディスプレイの活用

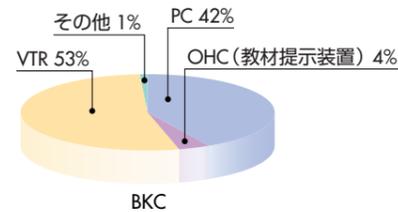
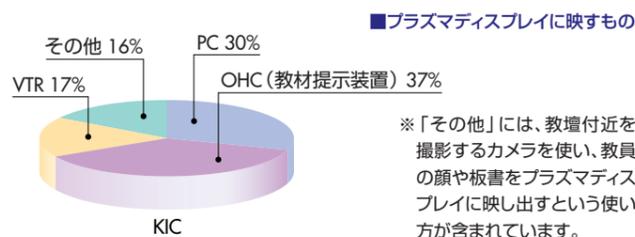
2004年7月15日~21日の授業日に、プラズマディスプレイの利用実態調査を行いました。その結果、衣笠キャンパスでは全体の約40%、びわこ・くさつキャンパスでは全体の約15%の利用率となりました。視覚的効果を高めるために、レジュメやパワーポイントを画面に映したり、映画を映し出したり、また大教室においては、教室後方の席の学生も臨場感ある授業が受けられるように、教員の顔を映し出すなど活用されています。

今回の調査は、前期最終授業の週に行ったため、授業時間内にテストを実施している授業が多く、利用率が低い結果となったことが考えられます。また、びわこ・くさつキャンパスでは調査実施対象が小教室中心であったため、特に利用率が低かったことも考えられます。

各キャンパスでの実施教室は以下の通りです。

(KIC) 明学館・以学館・存心館・清心館・洋洋館・研心館・恒心館 ※200以上の教室で実施

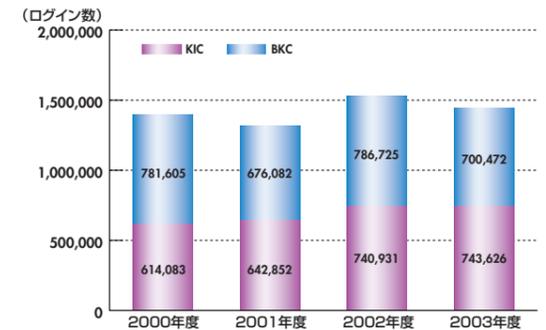
(BKC) プリズムハウス・フォレストハウス・アドセナリオ



自習環境の活用

学生が授業時間外にパソコンを利用して学習できる環境を整備しています。衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス合わせて約1,000台のパソコン環境を整備し、2003年度では、学生の約8割がオープンパソコンルームで、Windowsにログインしています。

■2000~2003年度オープンパソコンルーム延べ利用者数推移



■オープンパソコンルームの実利用者数 (Windowsログイン)

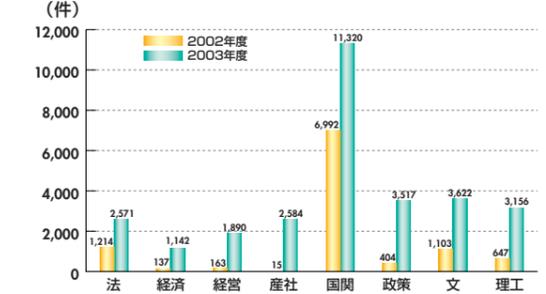
	法	経済	経営	産社	国関	政策	文	理工
実利用者数	3,982	3,554	3,786	4,107	1,138	1,555	4,333	6,257
平均アクセス回数	51.9	44.6	44.8	38.1	53.1	55.3	45.5	32.8
利用率	86%	92%	90%	84%	85%	92%	81%	84%

無線LANの活用

無線LANは、キャンパス内のさまざまなところに設置されたアクセスポイントと、無線LANカード等を装備したノート型パソコンを使って、コードレスで学内LANにアクセスできるシステムです。

2003年4月に、全キャンパスで無線LANが利用可能となり、2002年度と比較して約9倍の利用がありました。また、右グラフからも分かる通り、特に国際関係学部の学生の利用が目立っています。

■2002~2003年度学部別無線LANアクセス件数

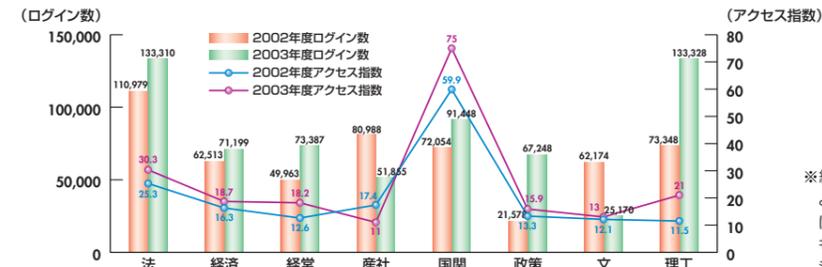


コースツールの活用

授業支援ツールとしてWebCTを導入し、2002年度から全学的に運用を開始しています。WebCTの主な機能として、オンラインシラバスの閲覧、受講登録科目についての講義資料ダウンロード、小テスト、受講登録者間でのメール送受信や電子掲示板などがあります。

なお、ログイン数の合計を各学部の学生数で割ったものを、アクセス指数として示していますが、これは利用度合いの目安になるものです。特に国際関係学部では、1人あたりアクセス指数が高いことがわかります。

■学部別WebCTログイン状況の経年比較



※経年比較において、2002年度は6月より運用が開始されているため、正確に比較できるよう2003年度のデータも6月以降のデータを抽出して同じ基準で比較を行っています。

ITによる学生サービスの充実

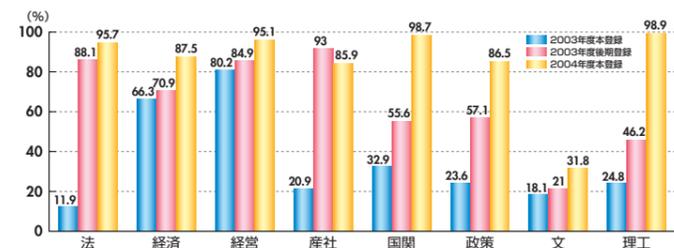
本学では、個人別時間割や休講・補講情報などのメール配信、オンライン受講登録や、卒業合否判定をWeb上で確認できるサービスなど、ITを活用したさまざまな学生サービスを行っています。

オンライン受講登録

受講登録はOCR用紙の提出により行いますが、学生がインターネットで受講登録できるサービスも提供しています。受付期間中は、時間・場所を問わず手続きが可能であり、登録した結果については、リアルタイムにメールで配信されとても便利です。

2003年度は前期・後期あわせて、オンラインで受講登録した学生の割合は50%、後期の受講登録では、学部によっては90%以上の学生がオンラインで受講登録を行っています。さらに、全学で実施した2004年度前期では、約80%の学生がオンラインで受講登録を行いました。

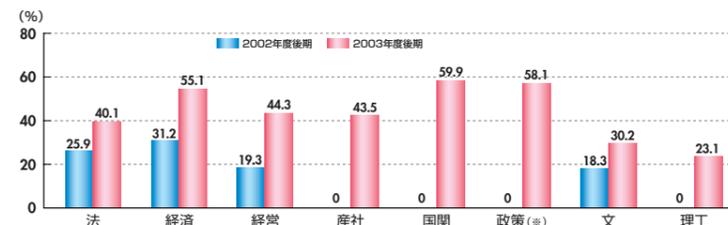
■学部別オンライン受講登録率



卒業合否判定

卒業合否の結果をWeb上で参照できるサービスを提供しています。2003年度は全学部で卒業合否結果をWebで参照できるようになりました。2003年度後期には多い学部で約60%の学生がアクセスしています。なお、実施していない学部は「0」としています。

■学部別卒業合否結果Webログイン率



※政策は2002年度後期に学部独自で実施

コンテンツ作成・活用の支援

衣笠、びわこ・くさつ両キャンパスには、教員向けに、自分で撮影・録画した映像や音声をパソコンに取り込み、編集することで独自の教材を作成する、デジタル教材作成室を整備しています。また、メディア・ラボでは、各種AV機器を整備し、放送波の録画やメディア変換などが可能です。独自に作成されたコンテンツは、授業の資料、またはWebCTで講義資料として配布したり活用されています。

なお、教育IT化支援室では教員を対象として、コンテンツ作成のサポートなどを行っています。

■教育IT化支援室

衣笠 学而館1F / びわこ・くさつキャンパス アクロスウィング2F 情報システム課分室内
 窓口時間 / 9:00~17:30 ホームページ / http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/i-system/it_support/

2004年度より民間プロバイダとのブロードバンド接続環境でもRAINBOWへアクセスできるようになりました!

「VPNサービス」

VPNとは、「Virtual Private Network」の略で、このサービスを利用することで自宅や外出先などからインターネットを使って安全にRAINBOWに接続することができます。学内の端末(オープンパソコンルームや情報教室)からしか利用できなかったコアデータベースのご利用や、IMAP、POPを使ったメール受信などがブロードバンド環境から利用できるようになりました。

VPNサービスを利用するには、事前に申請が必要です。申請はPPP回線利用申請と兼ねています。既にPPP回線利用申請を行っている方は、改めて申請をいただく必要はありません。

申請方法は [こちら](http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/i-system/index.html) → <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/i-system/index.html>

RAINBOWホームページ内「RAINBOWでできること」→「自宅から大学にネットワークをつなぎたい」

セキュリティ対策が義務化されました!!

2003年11月18日、立命館総合情報システム・ネットワーク利用規程の一部改正により、セキュリティ対策が義務化されました。

本学では、コンピューターウイルス対策やセキュリティホール(脆弱性)対策が講じられていないコンピューターは、ネットワークの利用を停止される場合があります。また、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどが発生した場合、該当するコンピューターのネットワーク利用を停止するほか、被害拡大を防止するために建物全体やキャンパス全域のネットワークを停止することがあります。

立命館総合情報システム・ネットワーク利用規程は、RAINBOW GUIDE、RAINBOWホームページに掲載しています。

■ウイルス対策をしましょう

コンピューターウイルスは、他人から受信した電子メールによって感染するものや、Microsoft Internet Explorer等でWebページを参照していて感染することがあり、感染力が極めて強力なものが存在します。また、Windows等のOSに存在するセキュリティホール(脆弱性)などを攻撃して被害を及ぼすものもあります。みなさんのパソコンはきちんとウイルス対策されていますか?

🔍 OSのセキュリティホールを塞ぐ

➡ 多くのウイルスはWindowsの既知のセキュリティホールを利用しています。OSのアップデートを定期的に行い、予めセキュリティホールをふさぐことで、ウイルスを防ぐことができます。そのための修正ファイル(パッチ)はマイクロソフトのWebページより入手できます。必要な修正ファイルをダウンロードおよびインストールしてください。

🔍 アンチウイルスソフトをインストールする

➡ ウイルスの感染からパソコンを守るため、パソコンには必ずアンチウイルスソフトをインストールしてください。ご自身で購入するか、情報システム課が提供しているアンチウイルスソフト(McAfee Virus Scan)を使用してください。McAfee Virus Scanはマカフィー株式会社の製品です。本学は、この製品のサイトライセンスを取得しており、立命館大学に所属している学生、教員、職員は、個人で所有するパソコンでも利用可能です。

🔍 アンチウイルスソフトの定義ファイル・スキャンエンジンの更新を行う

➡ アンチウイルスソフトをインストールしたら、ウイルス定義ファイルおよびスキャンエンジンを自動的に更新するよう設定してください。古い定義ファイル/スキャンエンジンでは、新しいウイルスに対応することはできません。

🔍 ウィルスを駆除する

➡ ウィルスに感染しているかの確認を行い、感染していた場合に自動的に駆除するための専用のウイルス駆除ソフトを実行してください。

ご不明な点は、情報システム課窓口までお問合せ下さい。また、RAINBOWホームページにウイルス対策・インストール方法など掲載していますのでご覧ください。

学生スタッフ活躍中!

総合情報センターでは、RAINBOW STAFF、ライブラリースタッフが活躍しています。

RAINBOW STAFF

衣笠、びわこ・くさつ両キャンパスのオープンパソコンルームや情報システム課窓口で利用者の質問に対応、また各オープンパソコンルームの巡回や、情報教室の機器管理などの業務を行っています。さらに、教員向け講習会の講師や各部課のホームページ作成など幅広く活躍しています。

スキルアップのための研修や日々の業務を通じて、学習し成長することを可能にする学内インターンシップとしても機能しています。

2004年9月現在、衣笠114名、びわこ・くさつキャンパス96名のスタッフが活躍しており、RAINBOW運用の重要な一翼を担っています。

活動内容の紹介

利用相談

情報システム課窓口やオープンパソコンルームにおいて、利用者の方からのパソコンやRAINBOWに関する利用相談・質問への対応、また障害対応を行っています。

利用相談に対応できるよう、スタッフ同士で研修を行い日々スキルアップに励んでいます。わからないことがありましたら、お気軽にお尋ねください。



講習会講師

情報システム課が開催する教職員向けWebCT講習会、パワーポイントやホームページ作成入門の講習会、また他部課からの依頼の講習会において、講師または講師補助を行います。講習会に参加した教員からは、「説明が丁寧でわかりやすい」、「わからない部分についてはスタッフからマンツーマンで説明を受け、理解が進んだ」など、好評を得ています。



プロジェクト

通常勤務以外の活動で、大学の諸活動に何らかの形で寄与することを目標・目的としています。全スタッフがプロジェクトに所属し、プロジェクトリーダーのもと目標を設定し活動を行います。プロジェクトに参加し、取材や交渉など普段の活動では体験できないことを学びます。

● Audio Visual Team

2003年度には、学園祭の様子を撮影・編集し、ほぼリアルタイムで立命館大学のホームページから発信しました。また、BKC創立10周年を記念して作成したBKC紹介ビデオは新歓祭典で放送されました。

● ホームページ作成支援

各部課からの依頼を受けホームページ作成を行っています。現在は、学園の学生向けホームページの運営を請け負っています。



学生ライブラリースタッフ

(図書館・修学館リサーチライブラリー・メディアセンター・メディアライブラリー)

2004年度は衣笠で53名・BKC25名、合計78名の学生ライブラリースタッフが活躍しています。スタッフの仕事を紹介します。

ガイダンス講師・補助

図書館で実施している検索セミナー・新入生向け図書館ツアー・書庫入庫ガイダンス(衣笠のみ)の講師や講師補助はライブラリースタッフが担っています。受講生の方からは、「親しみやすかった」「説明がわかりやすかった」と好評です。



返却台の資料の配架

館内の返却台に戻された本のデータを取り、書架に戻す作業をしています。

図書館活用シリーズの作成(衣笠)

図書館の使い方をテーマごとに紹介している「図書館活用シリーズ」は、ライブラリースタッフが作成しました。図書館をもっと使いこなしたい時に、是非活用してください。もちろん、閲覧室にいるスタッフに直接質問していただいてもOK! わからないことがあれば、お気軽に質問してください。

職場体験学習

衣笠とBKCでは近隣の中学校から「職場体験学習」のために中学生を受け入れています。中学生に図書館の仕事を教えることが、自分たちの業務内容を見直すよい機会となっています。

自動貸出機を利用しよう

2004年5月より、図書館(衣笠)・メディアセンター(BKC)およびAPUメディアセンターのカウンターに自動貸出機を設置しました。利用者が自分自身で貸出手続きを行うことができます。

カウンターでの貸出と同様に、貸出レシートを受け取り、必ず内容を確認してください。

返却する場合は、従来通りカウンターで返却手続きを行ってください。



図書館ガイダンス、講習会の実施状況

2003年度より図書館では、大学での学習・研究活動に欠かせない情報リテラシー能力(学術情報の収集・選択・活用)の向上と育成のため、教学部門に働きかけて正課授業と連携した情報リテラシー教育を実施しました。これは、情報リテラシーや基礎演習などの1回生履修科目を対象とし、自主的・集団的な学習・研究活動を支援することを目的としています。

衣笠では、基礎演習・入門講座・情報リテラシー講義の中に学術情報関連授業を取り入れ、「レポート作成と情報収集」の講義を実施しました。

BKCでは、例年新入生オリエンテーション期間に実施していた図書館ガイダンスに替えて、4学部基礎演習等で学術情報関連授業として講義を実施しました。

2004年度の両キャンパスでの実施内容は以下のとおりです。

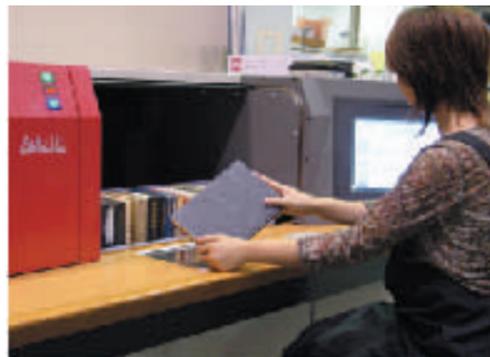
学部	コマ数	内容	実施授業名
法学部	2コマ	図書館長による「図書館利用の勧め」(VTR)、外部講師によるパワーポイントを使った情報選択・活用ガイダンスとデータベース講習会	情報リテラシー(883名)
経済学部	1コマ	職員によるパワーポイントを使った図書館ガイダンスとデータベース講習会	基礎演習(850名)
経営学部	1コマ		基礎演習(904名)
産業社会学部	2コマ	図書館長による「図書館利用の勧め」(VTR)、外部講師によるパワーポイントを使った情報選択・活用ガイダンスとデータベース講習会	情報リテラシー(1002名)
国際関係学部	3コマ	①職員によるパワーポイントを使った図書館ガイダンス、データベース講習会、情報選択・活用ガイダンス ②ライブラリースタッフによる館内ツアー	国際関係学研究入門(275名)
政策科学部	0.5コマ	職員によるパワーポイントを使った図書館ガイダンス	基礎演習(380名)
文学部	2コマ	図書館長による「図書館利用の勧め」(VTR)、外部講師によるパワーポイントを使った情報選択・活用ガイダンスとデータベース講習会	リテラシー授業(1105名)
理工学部	0.5コマ	①外部講師によるパワーポイントを使った図書館ガイダンスとデータベース講習会 ②ライブラリースタッフによる館内ツアー(希望クラスのみ)	学科専門科目(960名)
情報理工学部	1コマ	①職員によるパワーポイントを使った図書館ガイダンスとデータベース講習会 ②ライブラリースタッフによる館内ツアー(希望クラスのみ)	学科専門科目(550名)

メディアセンター(BKC)自動書庫

メディアセンター(BKC)では、2004年4月より自動書庫が稼働しています。

利用したい図書呼び出すと、地階から1階カウンターまで図書がリフトで運ばれてきます(約2分)。カウンターでタイトルを告げて館内で利用するか、または貸出手続きをしてください。ただし、図書呼び出せるのはメディアセンター(BKC)内に設置されている端末に限定されています。

この自動書庫には35万冊の図書資料を収納でき、利用が少ない図書を中心に随時入庫作業を進めています。



データベース提供状況

●2004年度からLEX/DBを導入しました

LEX/DBは、日本の法令・判例文献全文を収録した法律情報データベースで、次のデータベースから構成されています。



利用を終了するときは必ず「ログアウト」で終了してください。

検索したいデータベースを選択し、検索画面にキーワードを入力して検索開始します。

- ①判例データベース : 判例総合検索、税務判例総合検索、知的財産権判例検索、侵害訴訟等判例検索、審決取消訴訟判例検索、交通事故判例検索、医療判例検索ができます。
- ②行政機関等(審決・裁決)データベース : 特許庁審決検索、国税不服審判所裁決検索ができます。
- ③要旨データベース : 税務判例要旨検索ができます。
- ④Q&Aデータベース : 現実に起こり得る税務事例を取り上げ、質問に対する回答と詳細な解説を提供しています。

●現在提供しているコアデータベース

教育・研究活動に必要な基幹的なデータベースを「コア・データベース」として、1999年度から無料で提供しています。前期・後期にそれぞれのキャンパスでガイダンスも実施しています。

論文雑誌記事検索

JDream	科学技術、医学に関する学術論文や解説的記事などの文献情報を検索するシステムです。
MAGAZINEPLUS	国内最大の雑誌・論文情報データベースです。
ISI Web of Science	論文間の引用情報を利用した学術情報検索システムです。1980年から最新のものとまで、社会科学、自然科学、人文科学のデータを収録しています。
NACISIS-IR/ELS	約50種類のデータベースが利用できます。関連する電子図書館サービスでは、著作権料が無料の雑誌の全文記事が閲覧できます。
Wiley InterScience	私立大学図書館コンソーシアム参加大学のうち18大学で共同契約している270タイトルは全文にアクセスできます。
Oxford Journals	私立大学図書館コンソーシアム参加大学で共同契約している160タイトルは全文にアクセスできます。
日経BP記事検索サービス	日経BP社が発行する雑誌のバックナンバーを検索できます。
ScienceDirect Online	科学技術、医学に関する海外学術雑誌約150タイトルに掲載されている論文が閲覧できます。
Lexis.com/Lexis Nexis Academic	世界各国の法令、判例文献を収録した海外法律情報「Lexis」や新聞・雑誌などを収録した記事情報「Nexis」などの総合学術研究情報データベースです。(メールによる利用申請が必要です。)
ProQuest	芸術から科学まで幅広い分野にわたる雑誌記事や論文の情報を入手できます。
Source OECD	OECD出版物と統計資料がオンラインで提供され、資料の全文や要約が閲覧できます。
社会科学情報検索(NEEDS-FAME Factory)	国内マクロ経済、株式、企業財務、地域経済、銀行財務などが検索できるシステムです。

新聞記事検索

日経テレコン21	日経4紙の新聞記事検索と企業・財務情報や国民総生産、株価指数などのデータが参照できます。
朝日Digital News Archives(DNA)	朝日新聞(本紙、地方版)の前日までの新聞記事検索と「AERA」や「週刊朝日」の雑誌記事検索ができます。
Dialog Select	世界の新聞記事やニュース、自然科学、ビジネス、政治などの雑誌記事や学術論文についての目次情報が検索できます。新聞記事は全文収録ですが、学術論文は抄録となります。

百科事典

Japan Knowledge	「日本大百科全書」や「現代用語の基礎知識」などの百科事典、辞書、用語集やデータが検索できます。
-----------------	---

コンテンツ情報

SwetsWise	約15,000タイトルのコンテンツ・データを収録しています。約1,000タイトルがフル・テキストヘリンクしています。
OCLC First Search	人文社会、社会科学、新聞、雑誌などの世界最大の書誌データベースです。

データベース利用状況

ProQuestは外国文献の全文データベースサービスです。また、2003年度からAPUIによるABI/Informの導入によって、人文・社会科学分野が総合的にカバーされました。

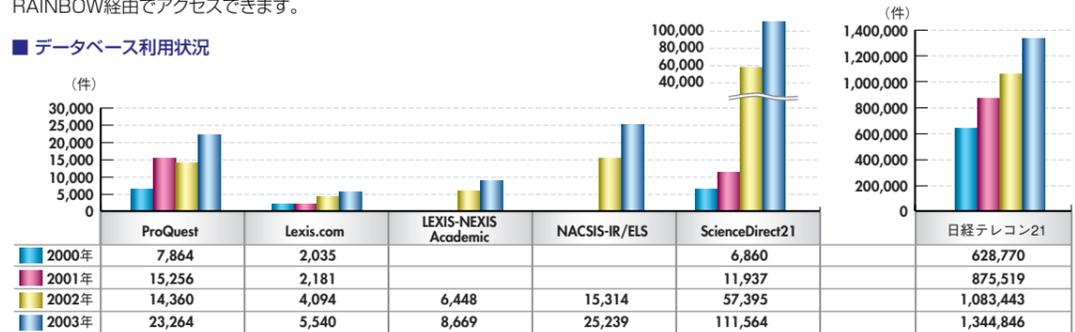
LEXIS-NEXISは海外法律情報LEXISや新聞などを全文収録する世界最大の記事情報NEXISなど、総合的な学術研究情報データベースです。Lexis.comは自宅からも直接アクセス可能です。LEXIS-NEXIS Academicは2002年度から利用状況を集計できるようになりました。

NACSIS-IR/ELSは2002年度より代行検索からコア・データベースに切り替えて提供しています。これは国立情報学研究所による情報検索・電子図書館サービスで、国内だけでなく、海外の論文記事も検索できます。

Science Directは、Elsevier Scienceが提供する海外学術雑誌200タイトルの電子ジャーナルを1998年から最新の論文記事をタイムラグなく検索できます。物理学、生命科学、社会科学の分野をカバーしていますが、特に、自然科学分野の有用なジャーナルを収録しているため、理工学部の利用が顕著になっています。

日経テレコン21は日本経済新聞等の新聞記事検索や企業・財務情報などの日経コンテンツを提供しています。個人研究室や自宅からはRAINBOW経由でアクセスできます。

データベース利用状況



学内利用状況

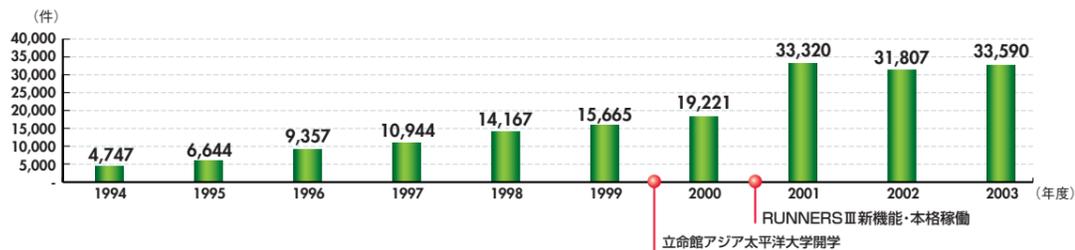
所属別一人あたりの貸出冊数



2003年度の館外貸出冊数は約42万5千冊で、2002年度と比較して約10.4%と増加しています。一人当たりの貸出冊数を所属別に算出したのが上のグラフです。法学部、国際関係学部、文学部、大学院、教員、APUアジア太平洋学部、APUアジア太平洋マネジメント学部で一人平均10冊を超えています。

RUNNERSによる予約・取寄機能

※1999年度までは学内相互利用の件数。2000年度以降はオンライン予約取寄せの件数



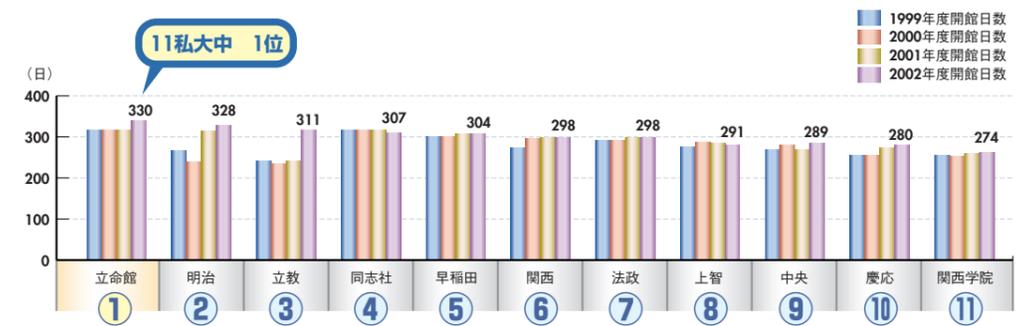
RUNNERSのOPAC検索画面にある予約・取寄機能を使えば、図書館に来館しなくても、貸出中の図書の予約や、他キャンパスに所蔵されている図書の取寄せを依頼できます。

2003年度は、33,590件の依頼がありました。10月は1ヶ月で4,500件を超えました。

本学学術情報施設の客観的状況

社団法人日本私立大学連盟発行「大学図書館実態調査」（平成12年度版～15年度版）に基づく11私立大学調査による

開館日数の経年推移



衣笠図書館の年間開館日数330日は、2002年度も11私大でトップです。衣笠図書館、メディアライブラリー、メディアセンターでは、2003年度から開講期の月末休館を廃止しました。これで、授業日はいつでも図書館が利用できるようになりました。

蔵書冊数の経年推移



蔵書冊数は確実に増加しており、2003年度は230万冊を超えました。立命館アジア太平洋大学を合わせ、240万冊を超えています。

学生一人あたりの貸出冊数



学生一人あたりの貸出冊数は11私大中6位です。2004年4月から学生の貸出冊数を5冊から10冊に拡大し、さらに利用しやすくなりました。

INFORMATION

～2004年4月からの変更点をご紹介します～

RUNNERSが新しくなりました

4月から稼動しているRUNNERSIV(学術情報システム)は検索スピードが速くなり、機能も向上しました。学習・教育・研究にこれまで以上に活用してください。

ガイダンスも実施しています。日程は総合情報センターホームページ(<http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/>)で確認してください。



■新しい機能

- ①NACSIS-Webcatを使って他大学の所蔵状況を同時に検索できます。
- ②雑誌をタイトルリストから検索できます。
- ③検索結果をメールで送信できます。

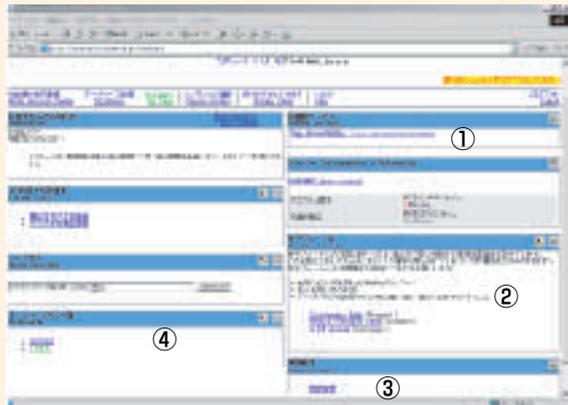
▶▶▶使っていますか? 「MyLibrary」

RUNNERSIVと同時に総合情報センタートップページに「MyLibrary」が仲間入りしています。

「MyLibrary」とは、インターネットを通じてアクセスできる資料・資源・検索ツールなどを、自分の研究室や勉強部屋のように整理しておける、Web上の図書館です。

■MyLibraryでできること

- ①Web上で貸出中の資料の延長手続きができます。(回数制限があります。)
- ②本学が契約している電子ジャーナルの中から、自分だけのリストを作成できます。
- ③横断検索で、複数のデータベースを同時に検索できます。
- ④よく使うインターネット・サイトのURLを登録して、自分だけのリンク集を作成できます。



このように、みなさんのさまざまなご要望におこたえします。「私」だけの「MyLibrary」を使いこなしてみましょう!

■新たな貸出規則を制定しました

■貸出条件を一本化しました。

カウンターごとに異なっていた貸出条件を共通にしました。貸出冊数・貸出日数はつぎのとおりです。詳しくは次の冊子をご覧ください。先生方:「授業での活用に向けて」(RAINBOW Guide for Teachers)p.18、学生のみなさん:「RAINBOW Guide」p.130

学部生・聴講生	10冊	14日	← 5冊から10冊に拡大!
大学院生・非常勤講師(大学)	100冊	100日	
専任教員	200冊	200日	

■リコール制度を導入しました

1ヶ月以上貸出されている資料(*)であれば、返却期限を待たずに利用することができます。貸出日数は14日間です。ご利用の際は最寄りのカウンターで手続きしてください。

*夏・春の長期休暇期間中は原則として申し込みできません。

■貸出できる施設が増えました

学部生の方は、修学館リサーチライブラリー・人文系文献資料室・研究所の資料も貸出できるようになりました。図書館等に所蔵がある場合は、そちらを優先的にご利用ください。積極的な利用をお待ちしています。